|  |
| --- |
| 履修証明書 |
| 本籍地  氏名  生年月日（昭和・平成）　年　月　日生  上記の者は、本学において言語聴覚士法第33条第４号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する科目として、次のものを修めて卒業したことを証明する。   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 指定科目 | 履修科目名 | 単位数 | 履修年度 | | 基礎医学 |  |  |  | | 臨床医学 |  |  |  | | 臨床歯科医学 |  |  |  | | 音声・言語・聴覚医学 |  |  |  | | 臨床心理学 |  |  |  | | 生涯発達心理学 |  |  |  | | 学習・認知心理学 |  |  |  | | 言語学 |  |  |  | | 音声学 |  |  |  | | 言語発達学 |  |  |  | | 音響学 |  |  |  | | 社会保障・教育とリハビリテーション |  |  |  | | 言語聴覚障害学総論 |  |  |  | | 言語聴覚療法管理学 |  |  |  | | 失語・高次脳機能障害学 |  |  |  | | 言語発達障害学 |  |  |  | | 発声発語・摂食嚥下障害学 |  |  |  | | 聴覚障害学 |  |  |  | | 地域言語聴覚療法学 |  |  |  | | 臨床実習 |  |  |  |   　令和　　年　　月　　日  （大学の所在地）  （ 大学の名称 ）  （学部・学科名）  （大学長の氏名） |

（作成上の注意）

１.　用紙の大きさは、Ａ４とすること。

２.　「履修科目名」欄には、厚生労働省に協議して指定科目に相当すると認められた科目名を記載すること。また、２科目以上を履修して指定の１科目の履修に相当する場合には、全科目を記載し、それぞれの科目毎に単位数及び履修年度を記載すること。

３.　証明は、当該科目を修めて卒業した大学の長が行うこと。

４.　指定する科目の履修が２箇所以上の大学において行われた場合の証明は、それぞれ履修した大学において行うこと。

５.　現に履修中の者に関する証明は、履修見込証明書として作成すること。